

# こども医療センター

## 北病棟 4 階

(小児外科、形成外科、心臓血管外科、共通)

### 1. 看護単位の概要

病床数 30床

小児外科 10床 形成外科 8床 心臓血管外科 2床 共通 10床

### 2. 病棟の特徴

#### 1) 小児外科

先天性胆道閉鎖症や鎖肛などで外科的処置を必要とする小児を対象としている。生体・脳死肝移植や、その他の周手術期看護を行っている。肝移植術を受ける患者に関しては、入院前から移植コーディネーターと情報共有しながら看護にあたっている。また、肝移植術後の定期肝生検や、鼠径ヘルニアなどのデイ・サージャリー術後の短期入院患者の看護も行っている。

#### 2) 形成外科

口唇口蓋裂や小耳症、多合指症、先天性色素性母斑などで外科的処置を必要とする小児を対象とし、それらの周手術期看護を行っている。

#### 3) 心臓血管外科

先天性心疾患で外科的処置を必要とする小児を対象とし、それらの術前およびICU帰棟後の術後看護を行っている。

#### 4) 共通

共通病床には小児科のほか、呼吸器外科や泌尿器科など院内のあらゆる診療科の小児患者が入院しており、それぞれの診療科と連携・協力し看護を行なっている。

\* 小児患者の治療環境においては、子どもと家族双方の治療に対する前向きな気持ちを引き出すことが重要であり、チャイルド・ライフ・スペシャリストや院内を横断的に活動する臨床心理士が専門的な知識をもって、子どもや家族の支援を行っている。

\* 小児期は心身ともに成長・発達する時期であり、入院期間中であっても可能な限り遊びや学習の機会を持ち子どもらしい生活を送ることが望まれる。家族はもとより、保育士・院内学級の教員・ボランティアと協力しながら、発育を促す関わりを心がけている。